

## 大学ポートレートにおける質保証システム部会「審議まとめ」への対応について

## 1. 背景

令和4年3月の中央教育審議会大学分科会質保証システム部会の「新たな時代を見据えた質保証システムの改善・充実について（審議まとめ）」において、大学の教育情報の公表制度の改善・充実方策として、「教学マネジメント指針（令和2年1月中央教育審議会大学分科会）」において情報公開が期待される学修成果・教育成果に関連する情報のうち、「基本的な情報であって全ての大学において収集可能と考えられるもの」とされた情報について、「大学ポートレートに分かりやすく掲載することを基本とする」との提言がなされた。

本提言を受け、令和5年1月19日に開催された大学ポートレート運営会議（第18回）において審議の結果、「教学マネジメント指針」で示されている学修成果・教育成果に関する情報への対応については、令和5年度以降、各大学の同指針への対応状況をふまえた上で収集項目や表示方法等の検討をすすめることとなった。

## 2. 各大学の同指針への対応状況について

文部科学省「令和3年度の大学における教育内容等の改革状況について」（以下、大学改革状況調査）における国公立大学の教学マネジメント指針に対応する各項目の情報公表の状況は、以下及び別紙のとおり。

①	教学マネジメント指針「別紙3」の対象箇所 （「公表することが考えられる内容」の細目の数）	29項目
②	大学改革状況調査から情報公表の状況がわかる事項 （大学改革状況調査「設問の項目」の数）	21事項
③	②のうち、国公立大学の平均50%以上が公表している事項 " 70%以上が公表している事項	12事項 6事項

## 3. 今後の進め方（方針）について（案）

## (1) 収集項目及び表示に係る方針等について

- ・大学ポートレートへの追加項目の入力は原則「任意」とし、記載がない項目はウェブサイト上に表出しない（空白の項目が出ない）ものとする。
- ・**収集項目**は、教学マネジメント指針「別紙3」の対象箇所から全項目または公表状況が一定以上のものを選択する。（今回審議でのご意見をふまえ、次回の運営会議にて具体案を提示。）

## (2) 審議・公開のスケジュールについて

運営会議（第21回）で収集項目の審議（令和6年6～7月開催を予定）

→ 決定後、必要に応じシステム改修を実施し、順次マニュアル配付、登録・公開開始

以上

## 大学の情報公表状況（教学マネジメント指針の項目別）

（比較資料）

- ・教学マネジメント指針「V.情報公表」関係 別紙3
- ・文部科学省調査「令和3年度の大学における教育内容等の改革状況について」（大学改革状況調査）  
調査項目「4-J 情報公表の状況」

教学マネジメント指針		大学改革状況調査 情報公表の状況				
No	公表することが考えられる内容	設問の項目	設置者別	全体		
1	1	同一の学位プログラムに属する学生の単位修得に関する以下の情報 ・入学年度別・年度毎の平均履修単位数 ・入学年度別・年度毎の平均修得単位数 （※）必修科目、選択科目及び自由科目で細分化することも考えられる。	a	単位の修得状況（年間あるいは卒業時までには修得された単位数と修得した学生数等）	国立 11.6% 公立 3.2% 私立 20.0%	17.0%
2	2-1	学位プログラムが授与した学位の名称と授与者の数	b	学位の授与状況（専攻分野に応じた学位と学位を授与された学生数等）	国立 83.7% 公立 47.9% 私立 85.4%	80.6%
	2-2	当該学位に係る「卒業認定・学位授与の方針」に定められた資質・能力				
3	3	同一の学位プログラムに属するそれぞれの学生の、「卒業認定・学位授与の方針」に定められた資質・能力の伸長に対する主観的な評価の年度毎の平均値及び分布その他の全体的な状況	h	大学の教育研究活動に関する学生の満足度	国立 61.6% 公立 21.3% 私立 54.8%	51.5%
			i	大学の教育研究活動を通じた学生の成長実感	国立 39.5% 公立 16.0% 私立 42.4%	38.8%
4	4-1	・就職を希望した学生数を分母とする就職者の割合  ・学生の主な就職先  ・進学を希望した学生数を分母とする進学者の割合  ・学生の主な進学先	e	卒業生の就職率	国立 95.3% 公立 89.4% 私立 92.6%	92.5%
			f	卒業生の主な就職先	国立 97.7% 公立 92.6% 私立 91.8%	92.5%
			c	卒業生の進学率	国立 87.2% 公立 70.2% 私立 70.1%	72.0%
			d	卒業生の主な進学先	国立 76.7% 公立 73.4% 私立 61.3%	64.5%
4-2	特定の職域の人材育成を目指すなど、「卒業認定・学位授与の方針」に照らして期待される進路がある学位プログラムにおいては、当該プログラムの卒業生数を分母とする当該進路への就職者の割合及び主な就職先					
5	5	学位プログラム毎の、各年度における入学者の修業年限期間が満了した時点での卒業生、在学者、退学者の数と割合	l	修業年限期間内に卒業する学生の割合	国立 41.9% 公立 18.1% 私立 26.2%	27.0%
			m	留年率（又は留年者数）	国立 34.9% 公立 20.2% 私立 56.1%	49.4%
			n	中途退学率（又は中途退学者数）	国立 38.4% 公立 23.4% 私立 62.2%	54.8%
6	6	同一の学位プログラムに属するそれぞれの学生が、当該学位プログラムに関連する授業内外それぞれの学修に費やした時間の平均値及び分布その他の全体的な状況	g	学生の学修時間（授業に関連した自学自習の時間等）	国立 39.5% 公立 13.8% 私立 59.0%	51.4%
7	7-1	各学位プログラムにおける個別学力検査の実施教科・科目、入試方法、その他入学者選抜に関する基本的な事項				
	7-2	合否判定の方法や基準				
	7-3	試験問題及びその解答				
	7-4	入試方法の区分に応じた受験者数、合格者数及び入学者数等	k	入学者選抜の状況（志願者数、受験者数、合格者数、倍率等）	国立 97.7% 公立 92.6% 私立 82.0%	85.0%
8	8-1	大学全体としての教員と在籍する学生の人数比	o	教員一人当たりの学生数（S/T比）	国立 37.2% 公立 24.5% 私立 74.6%	64.4%
	8-2	学位プログラム毎の、専任教員と在籍する学生の人数比。				
9	9	大学としての学事暦の状況（具体的な授業期間など）（学位プログラムにより異なる場合は学位プログラム毎の状況）	p	学事暦の柔軟化の状況（3学期制や4学期制の導入状況、秋入学の導入状況等）	国立 40.7% 公立 11.7% 私立 15.6%	17.9%

教学マネジメント指針		大学改革状況調査 情報公表の状況					
No	公表することが考えられる内容	設問の項目		設置者別		全体	
10	10-1	履修単位の登録上限制度の有無					
	10-2	制度の具体的な内容（上限単位数など）	q	履修単位の登録上限数	国立 公立 私立	67.4% 50.0% 66.2%	64.4%
	10-3	例外の具体的な要件（成績要件と追加登録が可能な単位数など）					
11	11-1	大学としてのシラバス作成に関する方針（どのような項目をどのような観点から記載しているかを説明するもの）					
	11-2	個々の授業科目のシラバス（特に必修科目や選択科目については、可能な範囲で学位プログラム毎に編集されることが望ましい）	r	シラバスの内容	国立 公立 私立	97.7% 94.7% 97.0%	96.8%
12	12-1	早期卒業及び大学院への飛び入学に関する要件					
	12-2	学位プログラム毎の早期卒業者・大学院への飛び入学者の人数及び割合	s	早期卒業の状況（早期卒業の導入状況、早期卒業した学生数や学生の割合等）	国立 公立 私立	10.5% 2.1% 4.4%	4.8%
			t	大学院への飛び入学の状況（大学院への飛び入学の導入状況、大学院へ飛び入学した学生数や学生の割合等）	国立 公立 私立	7.0% 1.1% 2.9%	3.1%
13	13-1	「卒業認定・学位授与の方針」に沿った学修者本位の教育を提供するために必要な望ましい教職員像					
	13-2	大学として実施しているFD・SDの内容（対象別の内容や頻度、参加率（どのような立場の者がどのような内容のFD・SDに参加したかが分かることが望ましい）など）	u	FDの実施状況や活動状況	国立 公立 私立	66.3% 43.6% 45.5%	47.6%
			v	SDの実施状況や活動状況	国立 公立 私立	31.4% 26.6% 27.1%	27.5%
	13-3	他大学や教育関係共同利用拠点との連携等によりFD・SDを実施している場合は、連携して実施するFD・SDの概要（連携先の名称や、FD・SDの内容、頻度など）					
13-4	FD・SDを担当する組織・部局を有する場合は、その概要（スタッフの人数や大学組織上の位置付けなど）						